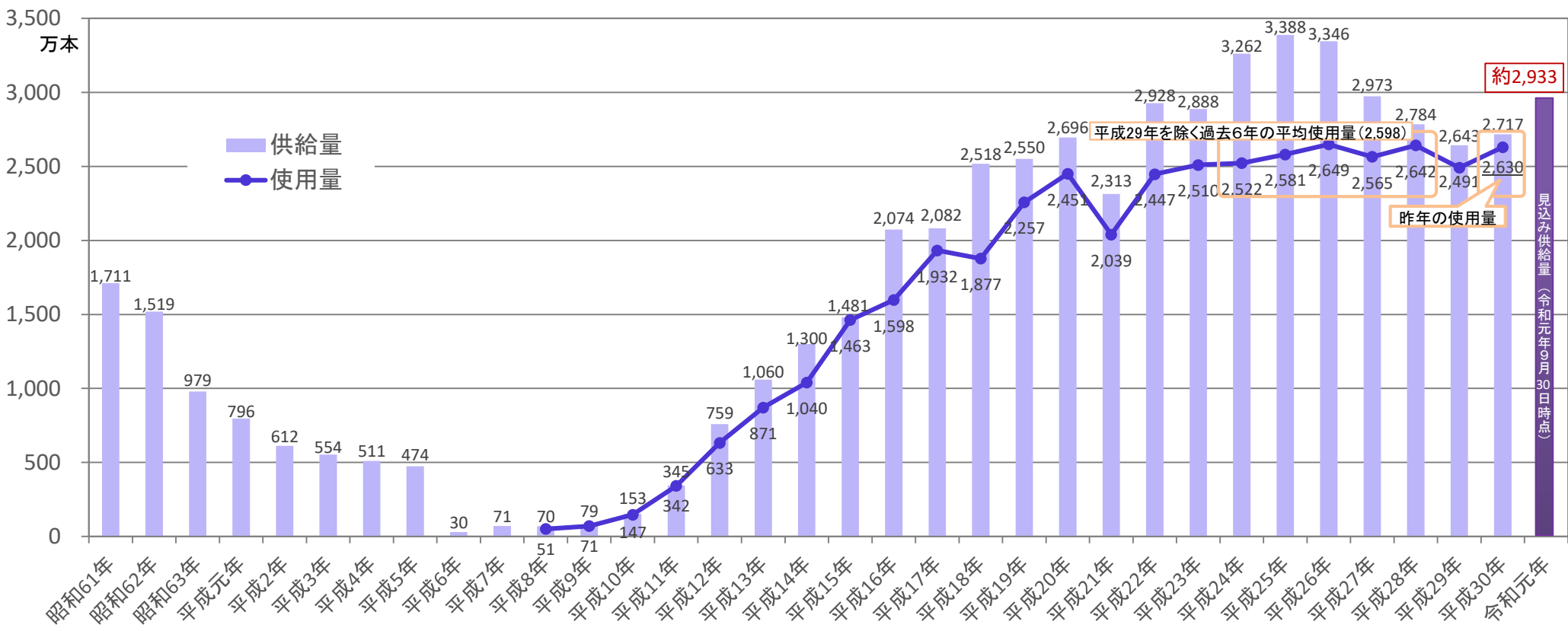


2019/20シーズンのインフルエンザワクチンの供給について（その1）

○ インフルエンザワクチンの見込み供給量（約2,933万本）は、昨年の使用量（2,630万本）や平成29年を除く過去6年間の平均使用量（2,598万本）を上回っている。

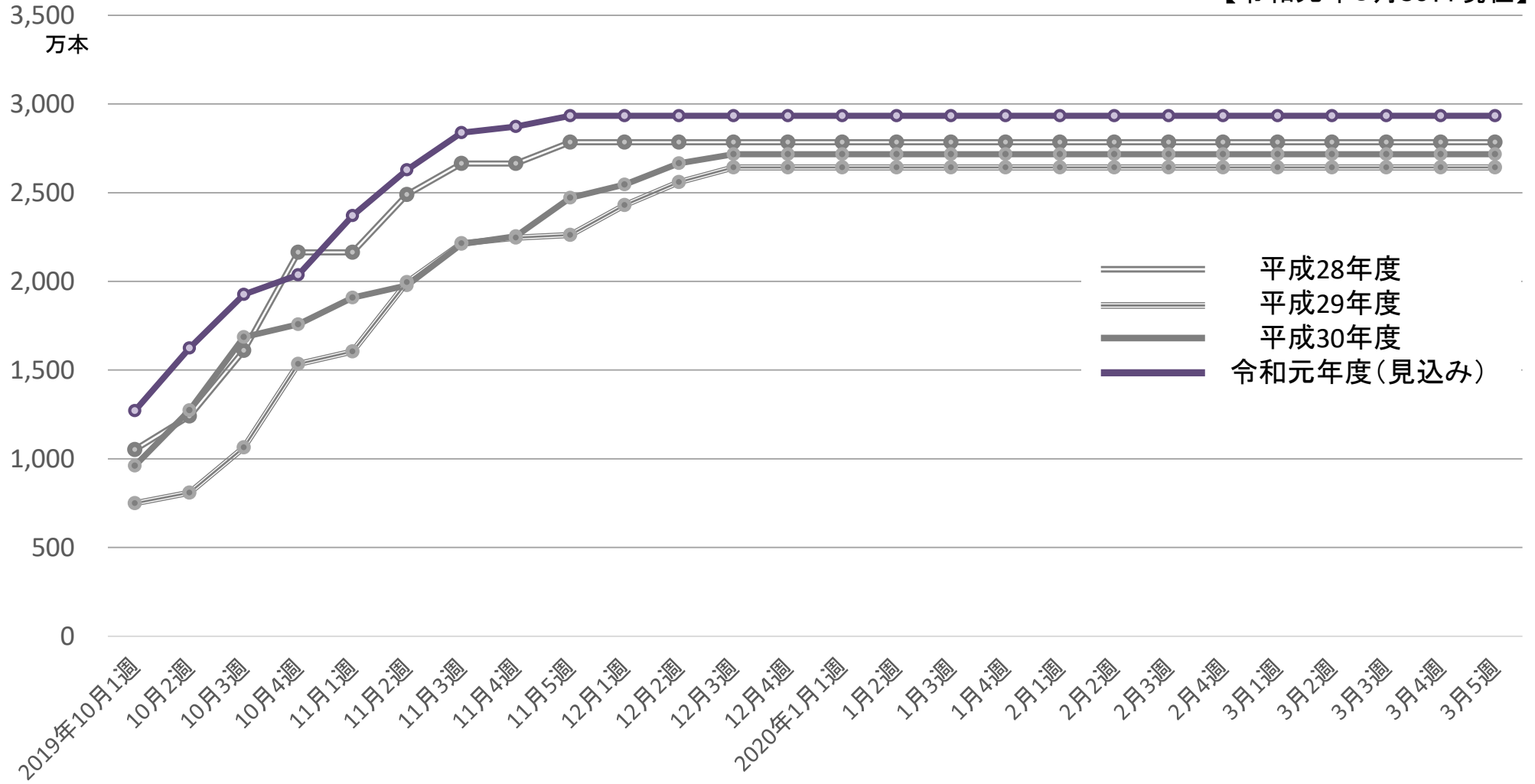
【令和元年9月30日 時点】



※1 平成7年以前の使用量は不明 ※2 1ml換算

2019/20シーズンのインフルエンザワクチンの供給について（その2）

【令和元年9月30日現在】



注1) 供給量は、いずれも1mL換算。

注2) 9月30日現在、ワクチン製造は完了していないため、将来の製造効率の変動や国家検定の影響の可能性については、平成30年度の実績と同様と仮定して供給量及び供給時期を算出。